

国語

課題チャレンジ

漢字・語句の復習「漢字・慣用句・単語など」

たしかめよう

組名前

一次の——線部①～③までの漢字の正しい読みをひらがなで
ていねいに書きなさい。

- ① 震えて
- ② 支度
- ③ 吹いて

二次の——線部①と——線部②をそれぞれ現代仮名遣いに
直し、全てひらがなでていねいに書きなさい。

- ① よささうな
- ② ある

三次の——線部①から④までの内、動作している人（もの）が
異なるものを一つ選びなさい。

そのころ、といっても大正四、五年のことで、いまから四十数年前のことだが、夕方になると、きまって村の子どもたちは口々に「しるばんば、しるばんば」と①叫びながら、家の前の街道をあっちに②走ったり、こっちを走ったりしながら、夕闇のたちこめはじめた空間を綿くずでも舞っているように③浮遊している白い小さい生きものを④追いかけて遊んだ。

【解答欄】

一	①	えて	②		③		いて
二	①		②		③		
三							

漢字や語句、文法、歴史的仮名遣いなどを学ぶことは、文章をより深く理解したり、相手に分かりやすく伝えるために表現したりする土台となります。

ポイント

チャレンジ

①「訓読み」次の(1)～(7)の文の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書で
ていねいに書きましよう。

- (1) 友達に本をカ|す。
- (2) 燃料を オギナ|う。
- (3) 鉛筆を カ|りる。
- (4) 計画的に行動に ウツ|す。
- (5) アマ|ったお金を貯金する。

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
った	す	りる	う	す

かいしよ

2

「音読み・熟語」次の(1)～(7)の文の―線部のカタカナを漢字に直し、楷書でていねいに書きましよう。

(1) 地域の人をシヨウタイする。

(2) おやつをキントウに分け合う。

(3) 円のハンケイを求めらる。

(4) 地図のシユクシヤクを調べる。

(5) 今までにないドクソウ的な考えだ。

(6) 雨で運動会がエンキになる。

(7) 舞台のマクが上がる。

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
		(的)				

3

「漢字の読み」次の(1)～(8)の文の―線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きましよう。

(1) 草木が繁茂している。

(2) 入会を勧める。

(2)	(1)
める	

(3) このホールは音響効果が良い。

(4) 考えに相違がある。

(5) 社会を風刺する。

(6) アユの稚魚を放流する。

(7) 詳細に述べる。

(8) 目上の人を敬う。

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)
う					(効果)

4

「同訓・同音の漢字」次の(1)～(3)の文では、もっとも適切な言葉を、(4)、(5)の文では、―線部に当てはまる漢字として正しいものを、それぞれ()のア～エから一つずつ選び、符号に○を付けましよう。

(1) 調査結果について、報道(ア機関 イ帰還 ウ器官 エ期間)に対して説明する。

(2) 会議で決を(ア執る イ撮る ウ捕る エ採る)。

(3) 今年の夏の暑さには(ア平行 イ平衡 ウ並行 エ閉口)する。



- (4) 中学生をタイシヨウ(ア象 イ照 ウ称 エ章)に調査する。
- (5) 新聞を読むシュウカン(ア間 イ慣 ウ刊 エ感)を身に付ける。

5 「慣用句」次の(1)～(5)の文では、()のア～エまでのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選び、符号に○を付けましょう。

- (1) 彼がこの討論の(ア火種 イ点火 ウ火薬 エ口火)を切った。
- (2) 弟子を手塩に(アまいて イひいて ウかけて エにぎって)育てる。
- (3) 会長候補として、白羽の矢が(ア立つ イ刺さる ウ飛ぶ エ向かう)。
- (4) 意見の折り合いを(アたてる イかける ウつける エなする)。
- (5) 彼は(ア水気 イせき ウ紙 エくう)を切ったように話し始めた。

6 「ことわざ」次の(1)～(4)の文では、()のア～エまでのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選び、符号に○を付けましょう。

- (1) 彼には、いくら言っても「ア猿 イ馬 ウ牛 エ猫」の耳に念仏」で効果がない。

(2) 笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを「笑う(ア人 イ庭 ウ所 エ門)には福来たる」という。

(3) よい結果を早く出したいときは、(ア一事が万事 イ論より証拠 ウ急がば回れ エ光陰矢のごとし)といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。

(4) 彼女は、学級の(ア縁 イ床 ウ板 エ面)の下の力持ちと言える存在だ。

7 「単語」次の(1)～(6)の文では、()のア～エまでのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選び、符号に○を付けましょう。

(1) 急いでいる時は、靴をはくのも(アおこがましい イいちじるしい ウもどかしい エはなはだしい)。

(2) 節分のときに、鬼をおいはらう(アはからい イならわし ウとりなし エうけあい)は、今でも続いている。

(3) わたしが健康になったのは(ア)ひとえに (イ)ほのかに (ウ)いちずに
エむやみに(母のおかげです)。

(4) 兄は困っている人を見るとほうっておけない(ア)品格 (イ)資質
ウ性分 エ器量)だ。

(5) (ア)たてこもる (イ)たちならぶ (ウ)たなびく (エ)たたずむ(雲
の間から、春の光がもれている)。

(6) 友達に将来の(ア)抱負 (イ)初心 (ウ)意志 エ感想)を話す。

8 「敬語」次の(1)～(3)の文では、()の(ア)～(エ)までのうち、どれが最も
適切ですか。それぞれ一つ選び、符号に○を付けましょう。

(1) 校長先生は、壁にはった生徒の絵を(ア)拝見しました (イ)拝見さ
れました (ウ)ご覧されました (エ)ご覧になりました)。

(2) 参観日には父が学校へ来ると(ア)申して (イ)おっしゃって
ウ話されて (エ)申されて)おりました。

(3) 私が先生のお宅に、(ア)承ります (イ)いただきます (ウ)参ります
エいらっしゃいます)。



【まとめ】

漢字については、小学校6年間で習った漢字は、文章を書くときなどに使えるようになります。中学校で習った漢字は、読めるようにします。
慣用句やことわざ、文法については、習ったことを他の単元や他の教科でも何度も使えるように、意識することが大切です。

【解答】

たしかめよう

一 ①ふる ②したく ③ふ 二 ①よさそうな ②いる 三 ③

1 「訓読み」 (1)貸 (2)補 (3)借 (4)移 (5)余

2 「音読み・熟語」 (1)招待 (2)均等 (3)半径 (4)縮尺 (5)独創 (6)延期
(7)幕

3 「漢字の読み」 (1)はんも (2)すす (3)おんきよう (4)そうい
(5)ふうし (6)ちぎよ (7)しょうさい (8)うやま

4 「同訓・同音の漢字」 (1)ア 機関 (2)エ 採る (3)エ 閉口
(4)ア 象 (5)イ 慣

5 「慣用句」 (1)エ口火(口火を切る) (2)ウかけて(手塩にかける)
(3)ア立つ(白羽の矢が立つ) (4)ウつける(折り合いをつける)
(5)イせき(せきを切ったよう)

6 「ことわざ」 (1)イ馬(馬の耳に念仏) (2)エ門(笑う門には福来た
る) (3)ウ急がば回れ (4)ア縁(縁の下の力持ち)

7 「単語」 (1)ウもどかしい (2)イならわし (3)アひとえに
(4)ウ性分(しょうぶん) (5)ウたなびく (6)ア抱負

8 「敬語」 (1)エご覧になりました (2)ア申して
(3)ウ参ります